

# 行財政改革の目的 ～「夢と希望あふれる大分県」の実現～

## 大分県「(仮称)中期行財政運営ビジョン」(今回策定)

車の両輪

いわば  
「政策県庁挑戦型」行革へ

### 「安心・活力・発展プラン2005」(H17.11策定)の更なる推進

県民が主役

県民の多様な  
価値観の尊重

県民の発想と  
活動の支援

「夢と希望あふれる大分県」の実現

「住んで良かった」「住んでみたい」と思ってもらえる大分県づくり

「政策県庁」への脱皮

更なる「挑戦」の加速

〇〇 喫緊に取り組むべき中期的な政策目標 〇〇

### ◎ 安心 ～安心して心豊かに暮らせる大分県～

- ◆大分県独自の低炭素社会の構築(地球温暖化対策の推進)
- ◆セーフティネットの再構築
- ◆子ども・子育て応援社会の形成
- ◆災害、犯罪、感染症等の多様な危機・県民の不安に対応できる環境づくり

### ◎ 活力 ～知恵と努力が報われる活力ある大分県～

- ◆力強い産業構造への転換
- ◆「企業立地満足度全国1位」をキープできる体制・取組の充実
- ◆農林水産業の産出目標額2,000億円の実現
- ◆ツーリズムの推進による大分の魅力発信・滞在型観光の強化

### ◎ 発展 ～人材溢れる発展の大分県～

- ◆「明日を拓く人づくり」に向けた大分県教育の再生
- ◆高速交通体系をはじめとする交通ネットワークの充実
- ◆「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ITを利用できる情報基盤の確立
- ◆NPO・ボランティア等との協働型社会の構築

下  
支  
え

### 新たな行財政改革の取組の推進(H21～H23)

「プラン2005」の実現に向けた県庁体制の最適化  
～強靱な行財政基盤の構築に向けて～

「選択と集中」の  
さらなる徹底

### ◎ 業務執行体制の改革 ～機能強化と簡素効率化の両立徹底へ～

- ◆組織機構改革 ～機能のかつスリムで効率的な体制の整備へ～
  - ・本庁、地方機関、試験研究機関
  - ・公社等外郭団体・出資団体
- ◆行政プロセス改革 ～「ムリ・ムダ・ムラ」の解消へ～
  - ・県庁内の情報共有・連携
  - ・内部事務手続きの見直し・簡素化、IT技術の活用
- ◆人事制度改革 ～少数精鋭体制の確立へ～
  - ・人材育成・能力開発
  - ・人事評価制度の充実

### ◎ 財政構造の改革 ～持続的な財政構造へのステップアップ～

- ◆事務事業の抜本的な見直し ～「ゼロベースからの見直し」の再徹底へ～
  - ①政策的経費の選択と集中
    - ・県単補助金、試験研究費、出資金・貸付金・基金の見直し、等
  - ②投資的経費の選択と集中
    - ・公共事業の規模是正と重点化、等
  - ③維持管理コストの削減
    - ・委託料、内部管理経費、維持管理経費の見直し、等
- ◆義務的経費の見直し ～財政硬直化の抑止へ～
  - ①総人件費の抑制、②県債残高・公債費の抑制、③扶助費の見直し
- ◆県有財産の活用 ～歳入歳入両面にわたる経営資源としての位置づけへ～
  - ・長寿命化、光熱水費節減、スペース有効活用、ネーミングライツ・広告掲載、等
- ◆歳入の確保 ～自主財源確保の更なる強化へ～
  - ・県税収入の確保、受益者負担の適正化、等

### ◎ 組織風土・パートナーシップの改革 ～県民視点に立った不断の改革改善へ～

- ◆開かれた県政の強化、現場主義の徹底 ～県民視点に立った行政品質向上へ～
  - ・情報公開、コンプライアンス向上、行政手続簡素化、利便性向上
  - ・十分な県民ニーズ把握・施策への反映、県民の県政参画の充実
- ◆多様な主体との連携・協働 ～総合的な地域力の強化へ～
  - ・県民・NPO等との協働分野の拡大、指定管理者制度など民間活力活用の検証・充実
  - ・市町村への支援強化、権限移譲の推進
- ◆国への働きかけ ～真の地方分権改革の実現へ～
  - ・地方交付税の復元、地方消費税の拡充、合併新市への支援、高速交通体系の整備促進、等